



社会福祉法人

つどいの家

アプリ通信 No74

# アプリのこと

平成31年3月25日発行  
つどいの家・アプリ編集  
〒982-0816  
仙台市太白区山田本町 3-20  
TEL 022-743-1882  
FAX 022-743-1883



## Let's Bowling



## ストライクに挑戦



アプリではペットボトルのピンを使ってボウリングを楽しんでいる橋本昂樹さん。本物のボウリングに挑戦です！自分の順になるとボールを“えいっ”と押して力強い投球。ボールの行方に目を凝らして・・・

# ひとりごと ～嬉しいできごと～

先日、嬉しいできごとがありました。町内会の方が、映画上映のお知らせにつどいの家・アプリを尋ねてくださいました。映画の内容は、知的障がいのある人、特に「重度」とされる障がいのある人をテーマにされているとのこと。

その映画の題名が「道草」です。

つどいの家・アプリが、知的障がいのある人が通う場所ということをご理解いただき、パンフレットを届けていただいたことでもあります。地域の方に気にかけていただいたことにとっても喜びを感じました。

仙台市内で、療育手帳を所持している知的障がいのある人は、8,482人います。重度の障がいのある人が出かけたり、地域で暮らしたりすることにまだまだ制限があります。「道草」の映画を鑑賞して、なにか一緒に考える機会になれば幸いです。私も観に行きたいと思います。

(記：大累)



「道草」 4月12日(金)～18日(木)

上映時間 12:00 / 19:00 千木・ラビィータ (Bivi 仙台駅東口2F)

## 保護者コラム

平成も終わり、新しい元号に変わった8月に娘は25歳になります。一見立派な大人の年齢ですが、見た目はずっと変わらず、時が止まったままの子どもようです。娘と反対に我々家族は歳をとるのが早く感じます。アプリに入って7年目になりますが、私自身も、娘と私の母親を自宅で介護する時期が重なりました。とても、母親の老いていく姿を見るのはつらいものでしたが、その母親も2年前に90歳で亡くなり、家で看取ったことは最後の親孝行と思いました。今は落ち着き、以前のような生活に戻りつつあります。

娘の楽しみといえば、何と言っても「アプリに行くこと」です。朝の着替えを始めると、私の顔をじっと見つめてにこにこ笑顔になり、そのうちテンションが高くなり、声を出してはしゃぎます。その様子を見ているこちらも思わず笑ってしまいます。こうして1日が始まり、会話ができない娘ではありますが、アプリで職員さんや利用者さんたちと触れ合いながらの生活が一番の楽しみになっていることと思います。そして日々、これからも変わりなく元気で過ごしているのが続くことを、家族は願っています。



(記：板垣有吏子母)

# ❄️ ❄️ ❄️ セントメリーでそりすべり! ❄️ ❄️ ❄️

1月30日、バジル・カモミールグループ合同で宮城蔵王セントメリースキー場に行ってきました。この日は穏やかな晴天に恵まれ、利用者は、待ちに待ったそりすべりに行けることを喜んでいました。

スキー場など雪が多い場所は足元が不安定で、うまく移動ができない等、そりすべりをするためにはいくつものハードルを越えなければなりません。しかし、宮城蔵王セントメリースキー場にはそりに乗ったままで丘の上に移動できるスノーエスカレーターがあるため、足が不自由な利用者でも歩かずに登ることができます！スキー場に到着すると、レンタルしたチューブ型のそりに乗り、スノーエスカレーターに乗ってスタート地点へ移動しました。そりすべりを行うスタート地点に到着し、職員と一緒に滑り降りると、手を叩いて喜んだり、ニコニコと笑顔になってそりすべりを楽しんでいました。今後もこうした設備が増えていくことで、障がいのある人でも気軽にレジャーを楽しめるようになってほしいと思います！（記:笹原）



## 花座に行ってきました！



1月25日の夜、山内宏司さんと一緒に国分町の定席、魅知国定席花座に行ってきました！夜の街を歩くのは久しぶりという宏司さん。大ファンの芸人「ニードル」に会うため、寄席に出かけるというオトナの遊びに挑戦しました。

少し早めに花座に到着すると、既に行列ができており、大盛況な様子。車椅子を降りていざ舞台へ！舞台は花座の2階にあり、階段を上る際は席亭の方にも手伝っていただき、スムーズに上ることができました。

そして舞台の幕が開き、ついにニードルが目の前に！！話の導入部分で宏司さんにも触れていただき、宏司さんの気持ちも最高潮！大爆笑の中舞台を見終えることができました。閉演後、ニードルの伊藤さん、GAKIOさんとお話をさせていただき、一緒に写真やサインまでいただきました。

花座の職員のみなさん、そしてニードルのお二人、心温まる関わりで大爆笑をありがとうございました！（記:設楽）



# 1年の振り返り～各グループから～

今年度のカモミールグループは「チャレンジ」を目標に活動してきました！利用者と一緒に様々なことに挑戦・体験していくなかで今までは見られなかったような表情が見られ、新たな発見に繋がりました！また、地域清掃の活動の際に地域の方から声をかけていただくなど、たくさんの素敵な出会いもありました。来年度もそうした出会いを大切にしていきたいと思います！（記：佐藤（愛））



今年度のバジル・ローズグループは、「想いを叶えること」を軸に活動してきました。新たな外出先へ行き、経験をしていくことで選択肢が増え、お話以外でも表情や仕草など様々な方法で想いを伝えて下さった利用者みなさん。次年度もその想いをしっかりキャッチし、本当に伝えたいことはなにか、その仕草にはどのような意味が込められているのかを一つずつ確かめながら、一緒に一人ひとりりがもつ本当の夢の実現に繋げていきたいと思います。（記：榊原）

今年度のミントグループの目標は「どんどん地域に出ていく！」でした！利用者もアプリと自宅ですっかり体調を整え、ほとんどお休みすることなく元気にアプリへ通所しました！大河原にあるさくらの風との法人の枠を超えた交流、仙台市議会の傍聴、コマダ珈琲アート展への出展、そしてアプリ近辺の散策等を通じてアプリの人を知ってもらう機会を作ったこと♪様々な方法で地域に出たこの1年！来年度はどんな目標を立てるのか？！利用者の方々と相談していきたいと思います！！（記：押切）



クレソングループは外出活動が多く活発なグループです。今年度も様々な外出先でたくさんの地域の方に出逢いました。利用者が元気に声を出して散歩しているのを温かい目で見守ってくださる地域の方、会報配布で利用者へ「お疲れさま」と一声掛けて受け取ってくださる方、太白山散策では「がんばってね」と応援をしてくださる方、たくさんの方々を支えて頂いたおかげで今年度も外出活動に出掛けることができました。ありがとうございました。（記：小原）

今年度のジャスミングループは、それぞれの安心できる、心地よい環境の中で「わかった！伝わった！できた！」を沢山経験することを目標に、日々同じ視線で向き合いながら、それぞれが心に思い描いたことを伝えること、そしてそれが伝わる喜びを一緒に感じながら、様々な活動に取り組んできました。それぞれが、自分のやりたい活動や得意なことに取り組む中で、今年度もたくさんの笑顔で溢れた、楽しい一年となりました。次年度も、利用者・職員共に想いを伝え合いながら、楽しく充実した日々を過ごしていきましょう！（記：庄子）





# 感染症のおはなし

今冬、仙台市内で猛威を振るったインフルエンザ。各地の小学校などでは学級閉鎖が相次ぎ、アプリでも一週間、休館対応となりました。更に3月になると、ノロウイルスや溶連菌などの流行の恐れがあるとのこと…。感染症を防ぐためにはどうしたらよいのか？看護師に聞いてみました。

感染症とは、病原体（病気を起こす小さな生物）が体に侵入して症状が出る病気のことを言います。病原体が体に侵入した後、症状が現れるかどうかは、病原体の感染力と体の抵抗力のバランスで決まります。

## ➤ 感染の経路

感染症の種類によって病原体の体内への侵入方法が異なり、人からうつる感染症には「接触感染」「飛沫感染」「空気感染」の3つの経路があります。

- 接触感染⇒感染者に直接接触して感染する…とびひ、破傷風など
- 飛沫感染⇒咳、くしゃみで飛び散ったしぶき（飛沫）を吸い込むことにより感染する…インフルエンザ、風邪、百日咳、マイコプラズマなど
- 空気感染⇒空気中に漂う微細な粒子（飛沫核）を吸い込むことにより感染する…結核、麻疹（はしか）など

## ➤ 感染症の予防

感染を予防するためには、感染経路を断ち切るための対策（手洗い、うがい、ワクチン接種）が必要になります。私たちが感染する病原体の多くは手に付着し、それを口に触れるとその病原体が体内に侵入し感染が成立します。それらを防ぐためには手洗い、うがいが効果的です。

また、ワクチン接種で予防できる病気がたくさんあり、ワクチンを打つとその病原体に対して免疫を獲得します。そうすると病原体が体に侵入しても病気にかからなかったり、重症化せずに済みます。日々の手洗いやうがいを心がけ、必要時にはワクチンを接種し、感染症にかからないように努めましょう。（記：看護師 菊地）



# 縄文の森運営懇談会



1980年に行なわれた宅地造成にともなう発掘調査によって、今から約4000年前の竪穴住居跡や貯蔵穴などが数多く見つかり、平成18年7月に「縄文の森広場」が開館しました。

「縄文の森広場」には、復元住居（竪穴住居）はもちろんのこと、縄文時代の畑や、雑木林を再現した緑豊かな広場があることから、アプリの利用者と芝生で走ったり、竪穴住居に入ったりと縄文時代の雰囲気を感じております。そんな「縄文の森広場」では、近隣町内会会長を始め、近隣の小中学校、児童館、市民センター、隣接している福祉事業所、仙台市などを招いて6年前より運営懇談会を年に2回開催しており、「縄文の森広場」の活動や運営、施設の有効活用法について話し合いをしています。「縄文の森広場」の事だけでなく、地域との繋がりを作り、各所と顔の見える環境で互いの情報交換ができる場でもあります。情報共有することで、私たちがいる地域の現状や課題について話をする事ができる有意義な運営懇談会です。

これからも、先人たちの行ってきた生活を知りながら、地域の中で繋がりを作り、今まで以上に住みやすい地域づくりに少しでも貢献できたらと思います。（記：高杉）



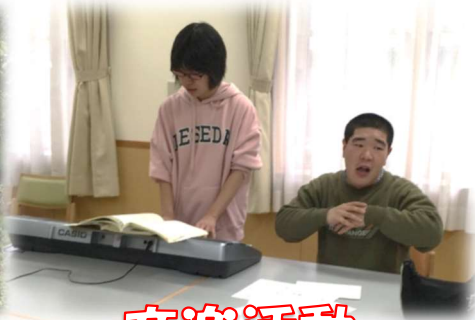
# ボランティア募集

つどいの家・アプリでは一緒に活動をして頂けるボランティアさんを大募集しています。体を動かすのが好きな方や、歌や演奏、手品など一芸があるのでみんなに楽しんでもらいたいという方、絵や手芸が好きな方、人と関わるのが好きな方…などなど、ボランティア経験がある方も、未経験だけど興味があるという方も大歓迎です！

時間帯は平日の10:00~15:30ですが、午前・午後のみでも構いません。興味のある方は、つどいの家・アプリまでぜひご連絡ください。お待ちしております！（記:八巻）



近隣散歩



音楽活動



アート活動

## バザー物品募集

つどいの家・アプリでは、毎年秋にバザーを開催しております。地域の皆様のご協力もあり、H31年度で9回目となるバザーの開催日が**10月19日（土）**に決定しました！

開催にあたって、現在バザー物品を大募集しております。提供を考えている物品がある方は、ぜひつどいの家・アプリまでご連絡ください！（記:石田）

### ●募集物品

衣類・生活雑貨・日用品(食品含む)・

食器類(新品のみ)・古本・CD類 等

(※古すぎる衣類や食品・食器、大型家電等のご遠慮ください)

### ●受付時間

10:00~17:00(月~金曜日)



### ●ボランティア・バザー物品提供についての連絡先は…

つどいの家・アプリ

〒982-0816 仙台市太白区山田本町 3-20

TEL:022-743-1882 まで



### \*編集後記\*

最近徐々に日差しが暖くなり、早いものでもう3月…！この時期になると、次はどんな1年になるだろう…というドキドキ感が湧いてきますが、何よりも利用者の皆さんと楽しく活動していけたらと思います。来年度も「アプリのこと」をよろしくお祈りいたします！（記:寺島）